

学生のおすすめ図書

v.4.0 2016 NOVEMBER



坊主days

杜康潤著
新書館

2009

文学部 日本史学科 4回生

<請求記号>
Q189/To 34

この本を一言で表すならば、「お寺あるある」になるのではないかと思います。この本を読めば「家族経営」のお寺の内部事情に詳しくなれる。かもしれない。



相撲の歴史

新田一郎著
講談社

2010

文学部 日本史学科 4回生

<請求記号>
講談社学術文庫/2001

現代の相撲が昔はどうだったのか、昔の人々は相撲をどのように思っていたのかが分かります。



源義経

元木泰雄著
吉川弘文館

2007

文学部 日本史学科 2回生

<請求記号>
289.1/Mi 38

この本は源義経の出生やその生涯、そしていかにして平氏討伐の最大の英雄である義経が没落し、平泉において最期をとげたのかが元木氏の考察とともに語られる。特に、元木氏の唱える仮説における義経没落の黒幕はかなりの説得力があって必見です。



古代寺院の成立と展開

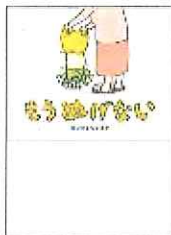
岡本東三著
山川出版社

2002

文学部 文化遺産学科 2回生

<請求記号>
210.08/N 71/17

この本はタイトル通り古代寺院の成立と展開が分かりやすく書かれています。また、日本に仏教が伝来して、どのように取り込まれていくのかも書かれています。ページ数もあまりなく、優しく書いているので、古代寺院を知る初めの一歩としてはとてもよい本です。



もうぬげない

ヨシタケシンスケ作
ブロンズ新社 2015

文学部 日本文学科 2回生

<請求記号>
726.6/Y 92

「もうぬげない」は絵本です。授業で使うのに読んだのですがとても絵がかわいく、内容もほんわかする枚数も少ないので読みやすいと思います。ぜひ、手に取って読んでみて下さい。



寺山修司少女詩集

寺山修司著
角川書店 2005

文学部 日本文学科 2回生

<請求記号>
角川文庫/て-001-012

「足よ じぶんを死へはこぶ車のない二輪車・・・」心に突き刺さるような表現、「言葉は武器だ」と著者がいうように、読者を圧倒させる詩がこの本につまっています。あの時代の日本を言葉で揺るがした寺山修司をこの本から知ってもらいたいです。



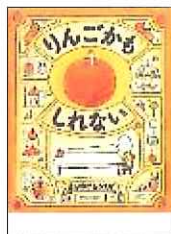
食通小説の記号学

真銅正宏著
双文社出版 2007

文学部 日本文学科 3回生

<請求記号>
910.26/Sh 62

岡本かの子、谷崎潤一郎、森鷗外などの作家たちの作品を例にして、文学における味覚表現や食の象徴体系について論じられる。グルメ小説を読んでいる時、なぜ「美味しそう」と感じるのか？近代日本の豊富な文学・文化資料と共に紐解いていく。



りんごかもしれない

ヨシタケシンスケ作
ブロンズ新社 2013

社会福祉学部 児童福祉学科 1回生

<請求記号>
726.6/Y 92

赤いりんごは金魚が丸まっているのかもしれない。らんご・るんご・れんご・ろんご・・・兄弟がいるのかもしれない。机の上に置かれた1個のりんごを見て、男の子が豊かな発想をしていく絵本です。発想力があれば、この世界はもっと面白くなるかもしれない。山口真希先生に授業内で読み聞かせをしていただき知った一冊です。



金魚の恋

坂崎千春著
中央公論新社 2005

文学部 日本文学科 2回生

<請求記号>
中公文庫/P-さ-3-3

赤い金魚の金魚鉢に突然やってきた黒い金魚に恋をする。絵本だけど絵本じゃない、切ない大人の恋物語。